

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月26日更新

事務事業名	生活管理指導短期宿泊事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2152
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市高齢者生活管理指導事業実施要綱		
	介護	11	1	2	10473		成果優先度評価結果	: ⑦	
							コスト削減優先度評価結果	: -	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	社会適応が困難な高齢者を特別養護老人ホーム等に短期間入所させて、日常生活に対する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防する。日常生活・家事・対人関係構築のための支援・指導及び関係機関との連絡調整を行う。平成12年度より、地域ささえあい事業として開始した。利用者はほとんどいない状況である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	事業所委託契約締結、高齢者生活管理指導事業申請書の提出後、包括支援センターの社会福祉士に調査依頼し、調査後にケア会議にて利用の可否を決定する。委託料支払い。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特に聞いていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
社会的適応が困難な高齢者を特別老人ホーム等に入所させて、日常生活の指導、支援を行う。	社会的適応が困難な高齢者を特別老人ホーム等に入所させて、日常生活の指導、支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 実態調査数	なし
→ イ: 事業を利用した高齢者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
社会適応が困難な高齢者及び対人関係が構築できない高齢者	→ ア: 要介護認定を受けていない高齢者
	→ イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
在宅で生活できるようになる。	→ ア: 在宅で生活できるようになった人数
	→ イ: 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 件	0	0	5	1	5	5	5	5	
	イ 人	0	0	2	1	2	2	2	2	
② 対象指標	ア 人	8,554	8,953	8,800	9,165	8,800	8,800	8,800	8,800	
	イ									
③ 成果指標	ア 人	0	0	1	1	1	1	1	1	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		9	5	9	9	9	9
		都道府県支出金	千円		5	3	5	5	5	5
		地方債	千円			19	10	19	19	19
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円		16	3	16	16	16	16
		(A) 事業費計	千円	0	0	49	21	49	49	49
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	103	37	141	37	37	37
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	103	86	162	86	86	86	86	

事務事業名	生活管理指導短期宿泊事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 利用者なし。相談はあったが、要介護認定レベルであるため、対象者とならなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 介護認定を受けている人でも待機者が多いため入所できないので、生活管理指導短期宿泊事業を利用しようとするときに施設が開いていないことがほとんどで、利用につながらないのが現状。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒【理由】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 事業内容を工夫することにより、向上余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 生活管理短期宿泊事業がなくなると、必要になった高齢者がいた場合対応ができない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 介護保険制度に準じて一部負担金をもらっているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託で行っているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ケア会議で審査しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委託事業であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

相談があっても、対象者でない場合がある。(要介護認定レベル等)

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					